

MIW 所蔵の写真集を紹介します

MIW 情報ライブラリでは、写真集も所蔵しています。人権や、女性に関する問題をテーマにしたものや、女性カメラマンによるものなど、様々な作品集があります。言葉では表現できない「何か」を、それぞれに感じ取ってみませんか。

NEW



その後佇んで、見えたもの：What Became Visible After STANDING Still

大藪順子監修／STAND Still／2024.1

性暴力被害後を生きる人たちが、写真を撮ることで自分と向き合い、声にできない(しない)思いを表現した作品の写真集。彼女たちの視線の先にあるものを、その隣に佇むような気持ちで眺め、写真を通して彼女たちの思いを想像してみてください。

NEW

山川菊栄・山川均写真集：イヌとからすとうずらとペンと

山川菊栄記念会・労働者運動資料室編／同時代社／2016.3

INSIDE-OUT

井上廣子著／フォイル／2009.4

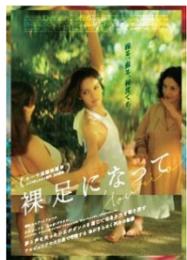
趙根在写真集：ハンセン病を撮り続けて

趙根在著／草風館／2002.9



MIWビデオサロン上映予定

MIWでは所蔵する映像作品を上映するビデオサロンを開催します。



4月18日(金)

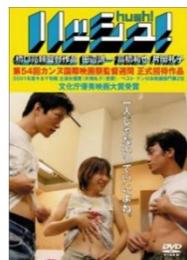
「裸足になって」

監督 ムニア・メドゥール

2022年／99分／フランス・アルジェリア

踊りも声も奪われたパレエダンサーが回復するまでの道のり

©THE INK CONNECTION-HIGH SEA-CIRTA FILMS-SCOPE PICTURES FRANCE
2 CINÉMA-LES PRODUCTIONS DU CH'TIHI-SAME PLAYER,SOLAR



6月20日(金)

「ハッシュ！」

監督 橋口亮輔

2001年／135分／日本

ゲイカップルと女性との間で芽生える、新しい家族の物語

いずれの日程も 14:30～、18:30～に上映を開始いたします。上映後には、感想を語りあう交流会を開きます。事前申込みは不要です。ぜひ、ご参加ください。

千代田区男女共同参画センターMIW(ミュウ)

〒102-8688 千代田区九段南1-2-1 千代田区役所10階

電話:03-5211-8845 FAX:03-5211-8846

Eメール:miw@city.chiyoda.tokyo.jp <https://miw.city.chiyoda.lg.jp/>

Instagram:chiyoda.miw Facebook:@chiyoda.miw

開館時間/月～金 9:00～21:00 土 9:00～17:00 日曜・祝日休館

ホームページ

メルマガ登録



ライブラリニュース

みゆう

2025年3月 105号

千代田区
男女共同参画センター

MIW(ミュウ)



MIW マスコットキャラクター
みゆうじろう

ジェンダー視点でドラマを観てみると…

テレビドラマは、その時代の社会が表現され、そこに映し出された作品の世界に、観ている人たちが影響を受けてきました。テレビドラマを通して、時代が移り変わる中でジェンダー観がどう変化したのかを考える手助けになる本です。

NEW



柚木麻子のドラマ

ななめ読み!

柚木麻子著

フィルムアート社

2024.10

マイナー・有名問わず、10年前から現在に至るまで、登場してきた数多くの地上波ドラマを日本ドラマに影響されてきた作家の柚木麻子さんが自身の視点から語りまくる!



テレビドラマ研究の

教科書：ジェンダー・

家族・都市

藤田真文著

青弓社

2024.10

テレビドラマをテーマにレポートや論文を書くためのテレビドラマ研究の入門書。恋愛・家族・仕事など、時代性が映し出されるドラマ作品を例に、社会的な観点でひもときます。

ジェンダーで学ぶメディア論

林香里、田中東子編／世界思想社／2023.3

ジェンダーで見るヒットドラマ：韓国、アメリカ、欧州、日本

治部れんげ著／光文社／2021.6

「テレビは見ない」というけれど

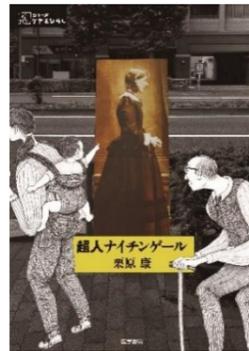
：エンタメコンテンツをフェミニズム・ジェンダーから読む

西森路代ほか著／青弓社／2021.4





女性史



超人ナイチンゲール
栗原康 著
医学書院
2023.11

【MIWスタッフレコメンド】

ナイチンゲールの人物像を問われると、「クリミアの天使」「近代看護の母」などの呼び名から、可憐で清楚、献身的な女性を思い浮かべるのでは。実際は、19世紀イギリスの男性中心社会において、頭脳明晰、常人離れした行動力で看護を改革していった非常にパワフルで時代を先取りし自立した女性。従来のイメージをぶち壊す、しかし強烈に魅力的なナイチンゲールに出会ってみてほしい。

「烈女」の一生

はらだ有彩著／小学館／2024.3

悪女、女傑、女丈夫、そして烈女。歴史に名を残した女性を指すいくつかの言葉。1900年前後を生きた、世界の「烈女」たちの文章に残された感情の痕跡を辿る著者は、彼女らの逡巡と、今を生きる私たちとの不測の繋がりを描き出す。個人史や通史からは漏れる、感情の共同性によって見出される「烈女」の一生は、私たちが生きるこの世界の歴史の大切な地層を成している。

帝国主義と闘った14人の朝鮮フェミニスト ：独立運動を描きなおす

金伊京著、尹錫男絵／花東書房／2024.8

日本の植民地支配下にあった朝鮮で、帝国主義に抵抗した女性14人の歩みを、絵画(韓国画)と文章によって歴史化した労作。民族差別と女性差別の両方に抗いながらも、資料の散逸や南北の分断によって、正当に評価されていない彼女たちもまた、紛れもなく「烈女」である。

ジェンダー



オタク文化とフェミニズム
田中東子著
青土社
2024.9

【MIWスタッフレコメンド】

「推し活」という言葉が一般的に使われるようになり、その活動が社会的にも広がりつつある。しかし著者は、そのポジティブな面だけでなく、過度な労働や消費活動など負の側面も存在することを、「推し」と「推す側」(ファン)の両側から考察し、提示する。「推し」と「推す側」が最適な関係を築くにはどうしたらよいかを、フェミニズム的視点から問いかけている。

ジェンダー・ディスカッションブック ：SDGsで学ぶ!性別格差がない未来

プラン・インターナショナル・ジャパン著
合同出版／2024.8

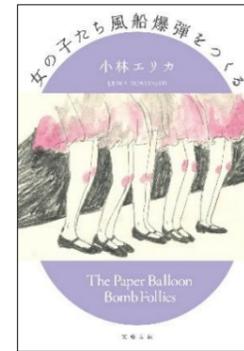
おもちゃや遊びにみられるジェンダー・ステレオタイプ、家庭での性別役割分業など、子どもたちにも身近に感じられるジェンダー問題の事例を取り上げる。子どもたちが自由に意見交換する中でジェンダーに関する固定観念を見つめ直すのに役立つ。大人も、職場や地域でも活用してほしい。

フェミニスト、ゲームやってる

近藤銀河著／晶文社／2024.5

フェミニズム、クィア、障がいの視点からゲームの社会的意義を刷新するweb連載の書籍化。異性愛や健常者中心的な物語への違和感や、開発者の想定を超えたプレイングなどによって引き出される、ゲームの批評的可能性についての考察は圧巻。末尾には、おすすめゲームや文献も収録。

文学・芸術



女の子たち風船爆弾をつくる
小林エリカ著
文藝春秋
2024.5

【MIWスタッフレコメンド】

小学校に上がった少女たちは東京宝塚劇場の少女歌劇団に憧れ、平和に楽しく暮らしていた。しかし、やがて戦争がはじまり、少女たちの生活は徐々に歪み、変化し続けていく。そんな中、ある日彼女たちは東京宝塚劇場に集められ、風船爆弾の製作を命じられることとなる。戦争が起こした日常の変化、それに翻弄される少女たちを数多くの資料をもとに描いた長編小説。

女の子が死にたくなる前に見ておくべきサバイバルのためのガールズ洋画 100選

北村紗衣著／書肆侃侃房／2024.11

著者が「18歳になる前にこういう映画を見て大人になれたらよかったな」と思った外国映画のガイド本。恋愛、フェミニズム、人種など様々なジャンルの作品が紹介されている。つらい時、生き抜くことを助けてくれるような映画に出会ってほしい。

化学の授業をはじめます。

ボニー・ガルマス著／文藝春秋／2024.1

1960年代のアメリカで、女性化学者であるエリザベスは、上司や同僚からセクハラをされた末、失職することになってしまう。そんな中、ひよんなことから料理番組の出演の仕事を受けることに。セクシーさを強調しろ、とするテレビ局側の命令に反し、エリザベスは化学を活用し、自分なりに抵抗する。女性蔑視をする悪役たちにギャフンと言わせる、勧善懲悪のストーリー！

コミック



じゃあ、あんたが作ってみろよ! 1~2巻
谷口菜津子著
ぶんか社
2024.1-

【MIWスタッフレコメンド】

大学時代から付き合っ6年目の記念日に、主人公の勝男は、同棲中の恋人・鮎美との結婚を意識するが、鮎美の気持ちは…。「筑前煮を作れる彼女がいい」「和食が作れたら魅力的」「顆粒だしなんてありえない」…など、作ってもらっただけの立場で好き勝手言う勝男に、読んでいてつい「じゃあ、あんたが作ってみろよ!」と言いたくなってしまっ。プロポーズ後の、二人の変化に注目。

言えないことをしたのは誰?: 上・下

さいきまこ著／現代書館／2024.7

教師による生徒への性加害をテーマとした本作では、教師と生徒という圧倒的な上下関係の間で起こる性加害、加害の手口、被害にあった生徒の心に深く長く残る傷、周囲の偏見などが描かれる。被害に気付き、防止するため周囲はどうしたらよいか、子どもを性暴力から守るためにどうしたらよいかを考えるきっかけになる作品。

女だけの世界へようこそ

アミンダー・ダリワル著／太田出版／2024.10

世界から男性が絶滅する! 新技術の発達により、男性がいなくても子どもを授かることができるようになり、すべての男性が世界からいなくなってしまう…そんな世界の中で、残された女性たちはどのような暮らしを営んでいるのだろうか? どこかコミカルで、どこかしみりとしたノベル式コミック。